

ふれあいと思いやりのまち
 7.67
 むこう

むこう市社協だより

福祉パレット

社協会員へのご加入を お願いいたします

みんなでつくろう 福祉のまちづくり

社会福祉協議会（社協）は、住民を主体として誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」の実現のために、地域のさまざまな取り組みを支援する社会福祉法に基づき民間の福祉団体です。地域住民の皆様にご協力いただく会費が、大きな財源となっております。継続した地域福祉事業を展開する基盤となっております。

会費は次のような事業に使わせていただきます。

- 地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
- 一人暮らし高齢者への防災・福祉合同パトロール
- シルバーふれあい旅行
- 敬老祝品の贈呈
- 障害者（児）ふれあいレクリエーション
- 福祉団体への支援
- （老人クラブ、障害者団体）
- 子育て支援事業（子育て講座など）
- 福祉資金の貸付
- 向日市社会福祉大会の開催



会費には次の種類があります。

自治会、町内会を通じてのお願い

一般会員

会費 1口 500円



特別会員

会費 1口 3,000円



向日市内の企業・団体の事業所の皆様へお願い

賛助会員

会費 1口 5,000円



福祉のまちづくりにご賛同いただく篤志家の皆様へお願い

名誉会員

会費 1口 10,000円

会費口数には制限はありません



お問い合わせ先 総務係 ☎932-1960

平成17年度事業計画、予算概要

基本方針

地方分権・規制緩和の改革が社会福祉分野においても進められ、社会福祉の仕組みも介護保険の創設や支援費制度の導入等、利用者が自ら福祉サービスを決定・選択する利用契約制度が進む中で、利用者の権利を擁護することが重要な課題となっており、福祉サービスの利用が適正に確保されるよう地域福祉権利擁護事業など一層の充実が求められています。このような状況を踏まえ、本会は、住民に信頼される組織をめざして、引き続き地域福祉の推進役として、次の重点目標を中心に諸事業に取り組んでいきます。

重点目標

- (1) 地域福祉活動の充実
- (2) 地域福祉権利擁護事業の充実
- (3) ボランティア活動の振興
- (4) 介護保険事業等の強化
- (5) 地域福祉活動計画の見直し

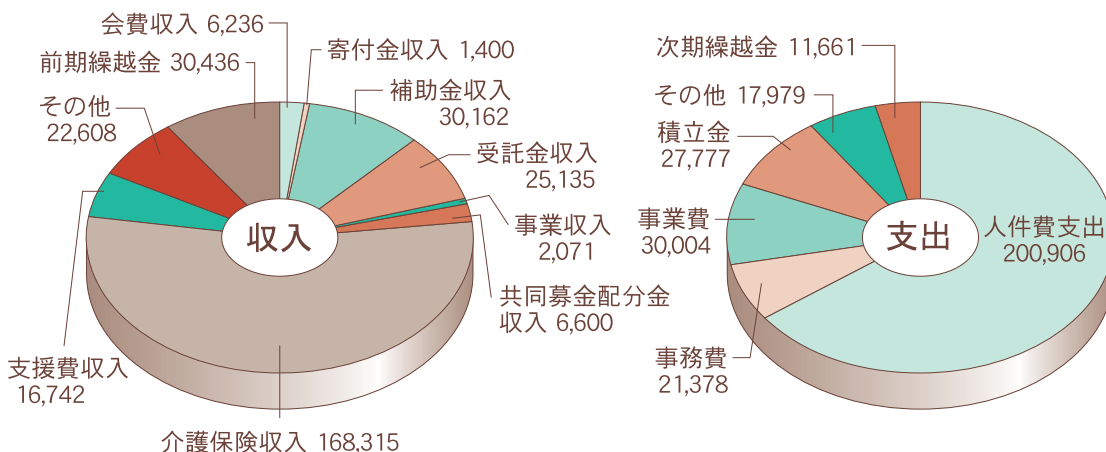
新規・充実事業

- 地域福祉活動計画の見直し【新規】
- 地区社協地域福祉活動推進研修会の開催【新規】
- 子育て支援事業の実施【充実】
- ボランティア計画の策定と推進【新規】
- ボランティアスクールの開講【新規】
- ボランティア活動センター情報提供事業【新規】
- 要約筆記奉仕員養成講座の開催【新規】

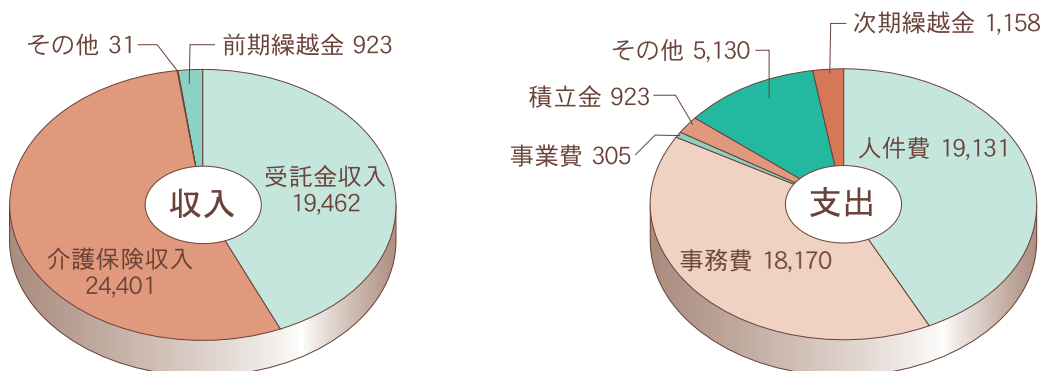
平成17年度事業計画と
当初予算が決まりました

平成17年度予算概要 (単位：千円)

一般会計 309,705



公益事業会計 44,817



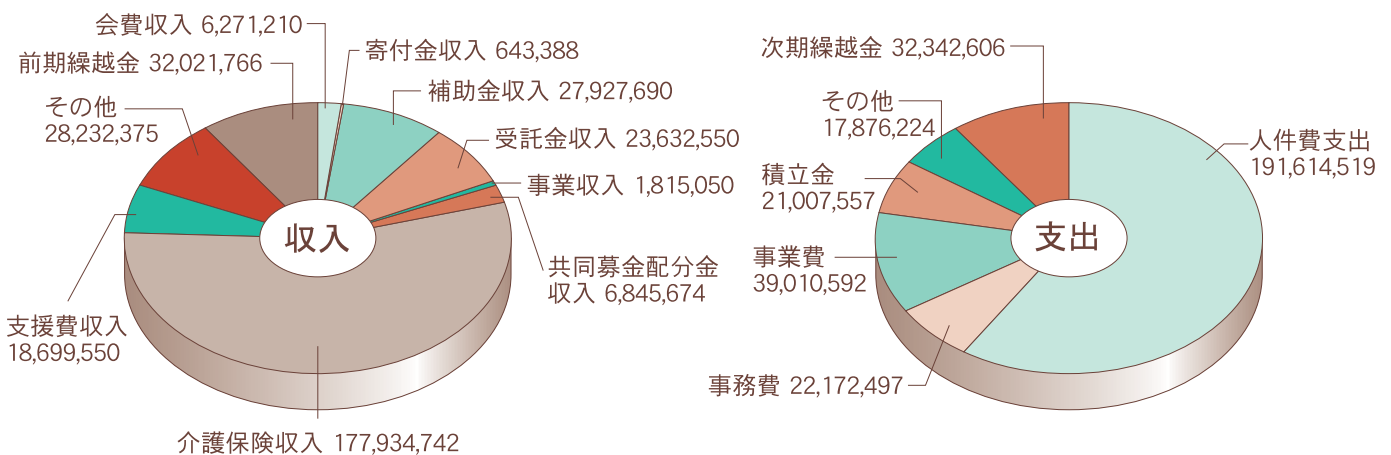
平成16年度決算報告

平成16年度の決算報告が、平成17年5月25日の理事会の認定を得て、5月26日の評議員会で承認されましたので、以下のとおり報告させていただきます。

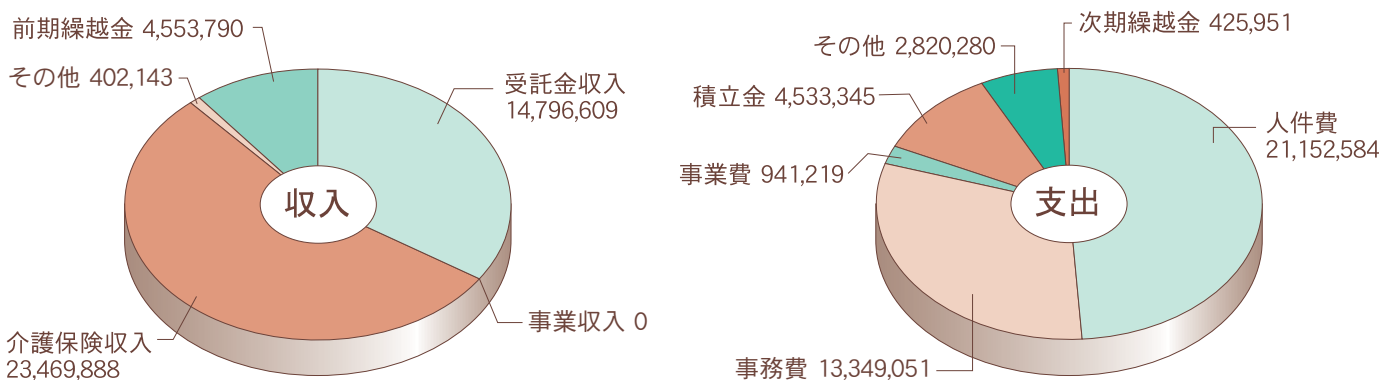
事業実施に当たりましては、自主財源となります会員からの会費、善意のご寄付など多くの皆様方をはじめ、行政機関、連合自治会、民生児童委員、福祉関係団体、ボランティアなどの方々から、格別のご理解とご協力をいただきましたこと厚くお礼申し上げます。

平成16年度決算概要 (単位：円)

一般会計 324,023,995



公益事業会計 43,222,430



善意のご寄付ありがとうございました。

(平成17年1月27日～平成17年5月18日)

京都新聞乙訓販売所連合会 代表 林 大克 様 30,000円

アルバイト職員募集

地域福祉権利擁護事業の生活支援員を募集します。

時間給 800円 + 事務費手当

申込 市販の履歴書に写真を貼付し必要事項を記入して本会まで。
まずは下記までお問い合わせください。

地域福祉係 TEL . 932 - 1961

市民ボランティアスクール **開講**

ボランティアをもっと身近に感じてみよう

場 所 福社会館（3階）大会議室
対 象 向日市内に在住、在学中、市民活動（ボランティア活動）に関心のある一般市民
定 員 40名（先着順）
受講料 500円（資料代として）
募集期間 平成17年6月1日（水）～7月15日（金）土日は除く

お問い合わせ、申し込み先

向日市社会福祉協議会 地域福祉係
 TEL.932-1961 FAX.933-4425
 E-mail.mukou-vc@ceres.ocn.ne.jp

ファクシミリ、E-mailによる申し込みの場合は、「申込受付完了通知」をこちらから送信した時点で申し込み完了とします。

* 日程および内容

回数	日 時	内 容
1	7 / 2(金) 13:30 ~ 15:30	社会福祉・ボランティアってなんだろう
2	7 / 2(金) 13:30 ~ 15:30	コミュニケーションの取り方
3	9 / 2(金) 13:30 ~ 15:30	手引き・アイマスク・車いす体験
4	9 / 3(金) 13:30 ~ 15:30	手話・点字・インスタントシニア
5	10 / 7(金) 13:30 ~ 15:30	ボランティアの体験談～現場からの声～
6	10 / 2(金) 13:30 ~ 15:30	自分に合ったボランティアを探す意義
7	11 / 2(金) 13:30 ~ 15:30	ボランティア活動のルール心構え
8	12 / 9(金) 13:30 ~ 15:30	ボランティア活動のルール
9	1 / 1(金) 13:30 ~ 15:30	ふれあいサロン活動体験（実践）
10	2 / 3(金) 13:30 ~ 15:30	実践のふりかえりと総まとめ

内容は、変更になることがあります。

雪解けから復興が始まる

グループ「ひまわり」が

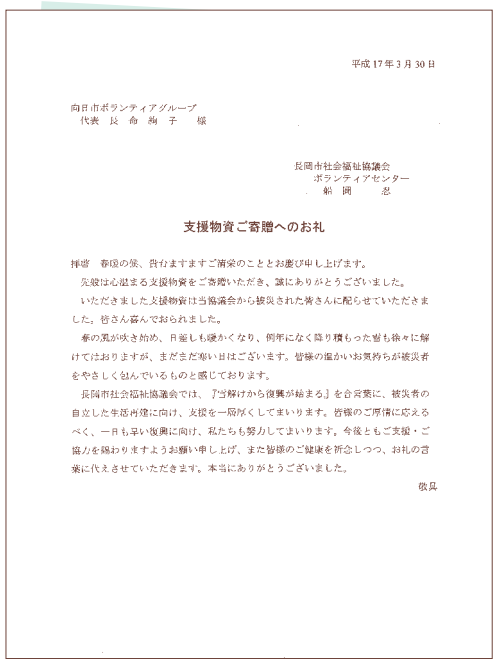
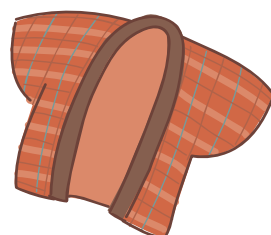
支援物資を寄贈

リフォームボランティアグループの「ひまわり」代表 長命絢子さん、会員数15名が、今年3月、手作りのはたてん十数着を新潟県長岡市社会福祉協議会に対して寄贈されました。「ひまわり」は、高齢や障害をもつ方々の着られなくなった衣類を補正して、再び着られるようにする衣類リフォーム活動を長年に渡りおこなっているグループです。

昨年10月、新潟県中越地震発生

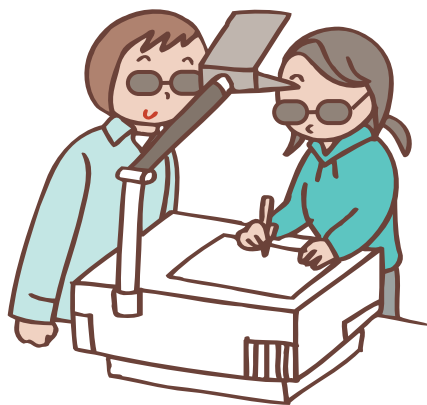
のニュースを聞いて、自分たちの活動で少しでも被災地の方々の役に立つことはないだろうかとグループで話し合っ、月1回の活動日に少しずつ作り始めたそうです。

お届けしたはたてんは、長岡市社協ボランティアセンターから被災された方々にお渡ししたとのメッセージを受けた代表の長命さんは、これからは心のこもったお手伝いを続けていきたいと語っておられました。



「要約筆記講座(基礎課程)」

受講者募集



9月から要約筆記ボランティア養成講座(基礎課程)を開催します。
要約筆記とは、聴覚が不自由な方に、講演会などで講師の話す内容などを伝える技術のことで、今回の講座では、講義や実技を通じて速さや正確に書くといったことを基礎から学びます。
文字を書くことが好きな方、ボランティア活動に興味のある方、聞こえに関心のある方、どなたでも楽しく学べる講座ですので、ぜひ一度受講してみてください。

回数	日時	講義	実技
1	9 / 7(水)13:30~16:00	開講式(オリエンテーション)	要約筆記の基礎知識
2	9 / 21(水)13:30~16:00	中途失聴・難聴者の生活	読みやすく書こう
3	10 / 5(水)13:30~16:00	難聴者の体験発表	要約して書こう
4	10 / 19(水)13:30~15:30	聞こえのしくみと難聴	聞こえのしくみと難聴
5	11 / 2(水)13:30~16:00	現場実習の心得	正しく伝えるために
6	11 / 16(水)13:30~16:00	コミュニケーションと社会参加	会議の要約筆記
7	11 / 30(水)13:30~16:00	色々なコミュニケーション支援システム	パソコン要約を知ろう
8	12 / 7(水)13:30~16:00	求められる要約筆記とは	協力して書こう
9	12 / 21(水)13:30~16:00	講演の要約筆記	ノートテイクと筆談(1)
10	1 / 18(水)13:30~16:00	要約筆記とボランティア活動	ノートテイクと筆談(2)
11	2 / 1(水)13:30~16:00	聴覚障害者福祉の問題点	総合練習(1)
12	2 / 15(水)13:30~16:00	聴覚障害者の福祉	総合練習(2)
13	3 / 1(水)13:30~16:00	閉講式(修了証授与)	交流会

内容は、変更になることがあります。

場 所 福社会館(3階)大会議室
対 象 向日市内に在住、在学中、要約筆記や、ボランティア活動に関心のある一般市民
定 員 20名(先着順)
受講料 500円(資料代として)
募集期間 平成17年7月20日(水)~8月31日(水)
 土日は除く

お問い合わせ、申し込み先
 向日市社会福祉協議会 地域福祉係
 TEL . 932 - 1961 FAX.933 - 4425
 E-mail.mukou-vc@ceres.ocn.ne.jp
 ファクシミリ、E-mailによる申し込みの場合は、「申込受付完了通知」をこちらから送信した時点で申し込み完了とします。

ボランティア募集中!

ボランティア活動センターには、気になる情報がいっぱいあります。



現在募集しているボランティア情報などがいっぱい集まっています!
 ボランティアコーディネーターが相談にのりますので、まずはご連絡をお願いします。

ボランティア登録をお願いします
 直接、センターの窓口まで来ていただき、「ボランティア登録カード」に必要事項を記入してください!

記入いただく事項

住所・氏名・電話番号・生年月日
 などの基本的な情報
 活動希望分野
 趣味・特技など
 活動できる時間帯

個人情報、ボランティア活動の紹介や、センターからのお知らせ以外の目的には使用いたしません。

地区社協活動のご紹介（パート3）

ふれあいと

思いやりのまちづくり

物集女地区社協編



向日市には、小地域（行政区）を単位として、8ヶ所（物集女・寺戸・森本・鶏冠井・上植野・向日・西向日・向日台）の地区社会福祉協議会（略称：地区社協）が設立されています。

今回は、物集女地区社協の活動をご紹介します。

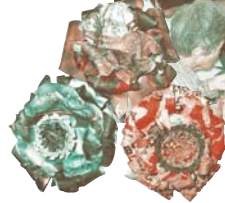
物集女地区社協では、毎月第2水曜日に、物集女コミュニケーションセンターにおいて『ふれあいサロン』を開催して

られます。

『ふれあいサロン』とは、身近な地域を拠点として、高齢者や障害者、子育て中の方等も含めて、地域住民が一緒に企画・運営しながら、茶話会やレクリエーション、小物作り等の活動を定期的に行い、楽しく・気軽に仲間作りを行う活動のことを言います。

物集女地区社協では、平成16年7月以降、茶話会と小物作りを中心に、『ふれあいサロン』に取り組んでおられ、毎回20名前後の高齢者の方々が参加しておられます。

物集女地区社協では、茶話会と小物作り以外にも、開催月に誕生日を迎えられる高齢者の方の誕生日会を開催した



り、ハーモニカを演奏する方の協力を得て、みんなで歌を歌ったり、毎回その内容に工夫を凝らしながら『ふれあいサロン活動』に取り組んでおられます。現在『ふれあいサロン活動』の参加者を募集しておりますので、身近な地域での仲間作りに関心のある方はぜひご参加下さい。

向日市社協では、今後も福祉パレットにおいて、向日市内8ヶ所の地区社協活動を順番にご紹介していきますので、同活動に関心のある方は、お気軽に向日市社協までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

向日市社協 地域福祉係

TEL: 932・1961

福祉サービス利用援助事業 （地域福祉権利擁護事業）のご案内

住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために

認知症（痴呆）や知的障害、精神障害のある方を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために必要な福祉サービスの利用をお手伝いしています。

お手伝いしている内容は、福祉サービスに関する情報提供や助言、利用手続きや日常的金銭管理等です。

事業の内容や利用方法、利用料金等の詳細については、お気軽にお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先 向日市社協 地域福祉係 TEL: 932 - 1961

森本地区社協

ボランティア募集中!

森本地区社協では、森本地区内に在住まいの方で、高齢者を対象とした配食活動や会食のお手伝い（調理に携わるボランティア）に協力していただける方を募集しておられます。

配食活動等に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。



問い合わせ先

森本地区社協 会長 吉住さん TEL: 922・6307

向福グループ 車椅子寄贈のお礼



向福グループ（代表：山岡浩治）様より、在宅福祉の充実を目的とした事業に活用するように、車椅子1台（5万円相当）を寄贈していただきました。

同団体では、環境保全とリサイクル運動の推進を目的に、アルミ缶の回収活動を行っておられ、その活動で得られた収益で車椅子等の介護用具を購入され、年1回向日市社協へ寄贈していただいております。

向日市社協では、市民の皆様方を対象に、介護用具の貸出を行っております。貸出を希望される方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

向日市社協 地域福祉係 TEL:932 - 1961

三菱電機株式会社 指定寄付金のお礼

三菱電機株式会社様及び三菱電機SOCIO-ROOTS基金様より、障害者福祉を目的とした事業に充当するように、京都府共同募金会を通じて、26万円の指定寄付金をいただきました。

同社では、従業員から寄せられた募金額に対して、会社がその同額分を上乗せされ、同SOCIO-ROOTS基金に蓄えられた後、年1回福祉団体へ寄付しておられます。

向日市社協では、毎年恒例の「障害者（児）ふれあいレクリエーション」を今年も6月5日（日）に「心のふれあい」を合言葉に開催し、指定寄付金を事業費の一部として、使わせていただきました。

ご協力ありがとうございました。



くらしの資金(夏期)のお知らせ

疾病や失業により、一時的にお金のやりくり困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、くらしの資金の相談を受け付けます。

- 受付期間** 7月1日(金)~15日(金)
午前9時~午後4時、ただし、土曜日・日曜日を除く
- 貸付限度額** 1世帯あたり10万円以内
- 相談窓口** 向日市社協・地域福祉係(電話932-1961)

健康教室の開催

転ばないからだを つくりましょう！

転倒による骨折をきっかけに、閉じこもりや、寝たきりになる事が多いということをご存知ですか？ 体力に合わせて、無理なくできるところからはじめてみませんか？ 向日市の3つの在宅介護支

援センターでは、今年度も健康教室を左記日程で開催します。お近くの開催地にお越し下さい。まずは、お近くの在宅介護支援センターへお電話下さい。



開催日程	内容	場所
第1回(6月10日) 第2回(7月8日) 第3回(8月12日)	活き活き健康体操 タオルを使って...	向陽苑 向日市福祉会館 物集女公民館
第4回(10月初旬) 第5回(10月下旬) 第6回(11月頃)	栄養講座 骨に良い おやつ作り	調整中
第7回(12月頃) 第8回(1月頃) 第9回(2月頃)	リハビリ体操 イスを使って...	向陽苑 向日市福祉会館 物集女公民館

向陽苑 (TEL:921-4100)

向日市社協 (TEL:921-1550)

ケアセンター回生 (TEL:934-6887)

お電話下さい
訪問します

向日市社協在宅介護支援センターは、向日市から委託を受けた公的な相談窓口です。

介護保険はもとより、保健や福祉サービスなどが受けられるように、お手伝いをいたします。在宅でお越しの虚弱な高齢者や、まだまだ元気にお

過ごしの高齢者の方々が、これからの生活を、地域で健やかに過ごして頂くためにも、まずは、気軽に相談できる窓口として、在宅介護支援センターがある事を知って頂きたいと思ひます。

現在、少しずつではありますが、ご自宅を訪問させて頂き、お話をお聞きしています。お気軽にお電話下さい。

サマーボランティア体験'05参加者募集中!

これからの時代に求められている社会福祉。これからの将来のため、また自分自身のために身近なところでボランティアにチャレンジしよう!

市内の社会福祉施設でのボランティア活動体験を実施します。いろいろな人たちとの出会いを通じて、「ともに生きる」ことを実感するとともに、社会福祉施設の役割や、社会福祉の仕事への理解を深めます。

***実施期間** 平成17年8月1日(月)から
8月31日(水)まで

***対象** 市内在住、在学の学生
(ただし、高校生以上)

***参加費** 無料(ただし、食費は実費)

***定員** 70名程度

***体験施設**

種別	内容
高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム、デイサービスセンター
障害者福祉施設	重症心身障害者通所施設、心身障害者共同作業所
児童福祉施設	保育所

***その他**

参加希望者は、必ずオリエンテーションに参加してください。オリエンテーション 7月25日(月) 場所 福祉会館
1. 保育所向け 午前10時~午前11時30分
2. 障害者施設向け 午後1時30分~午後3時
3. 高齢者施設向け 午後4時~午後5時30分
修了証を発行します。

***申込**

所定の参加申込書を本会に取りに来ていただき、7月20日(水)までに、社会福祉協議会ボランティア活動センターへ提出してください。



こんにちは、 居宅介護支援事業所です

社協のある福祉会館、 ご存知ですか

皆さん、こんにちは。

私は、社協でケアマネジャー（介護支援専門員）と言う介護保険関係の仕事をしています。そのため保険を利用されている方のお宅に訪問する機会がよくあります。

その時、「あんだ、どこから来てるん。」と聞かれることがあります。

「以前向日町警察署があった場所に出来た福祉会館から来ています。」と答えておりません。

福祉会館の建物は、知っていても中に入らなかったことがある方は、意外と少ないようです。その1階の玄関横の福祉会館事務室・居宅介護支援事務所に私の机があります。事務所には、職員が7名おり、ケアマネジャーは、私を含め5名おります。

ケアマネジャーって、 何ですか？

介護保険が始まり6年目をむかえ、利用される方も増えて、ケアマネジャーと言う言葉をお聞きになる機会が多いと思います。

でも、ヘルパーと勘違いされている方もおられます。

ケアマネジャー（介護支援専門員）は、介護保険で要支援・要介護の認定を受けられた人に対して、その人の身体状況を考えながら、その人に合ったサービスが利用できるようにサービス提供事業所と連絡・調整を行うたり、ケアプラン（介護計画書）を作成したりする人のことを言います。又、住宅を改修する際や、介護保険の更新など手続きの代行も行っています。

ケアマネジャー（介護支援専門員）にケアプラン（介護計画書）の作成を依頼される場合は、介護保険の認定を受けられ、市町村にどこの事業所にケアプラン（介護計画書）を依頼するかの届をするようになります。

このケアプラン（介護計画書）にかかる個人負担は無料となっています。

このケアプランに基づいて、例えば、ヘルパー（訪問介護）に調理・掃除をしに家に来てもらったり、デイサービス（通所介護）から、お迎えに来てもらい、昼食を食べたり、入浴をしたりすることができるのです。

つまり、ケアマネジャーとは、介護認定を受けておられる方、または該当される方がよりよい日常生活を送られるための援助の計画を作成してサービスを受けていただけるよう手配しその調整（マネジメント）する役目なのです。



介護保険を利用しようかなと 考えておられる方

お家で介護が必要となられた方、いらっしやいませんか？

介護に関するお悩みをお持ちの方は、いつでもお気軽に福祉会館に来ていただくか、お電話してください。

福祉会館には、私の所属します居宅介護支援事業所の他にも、在宅介護支援センター・デイサービスセンター・ヘルプセンターも併設しております。

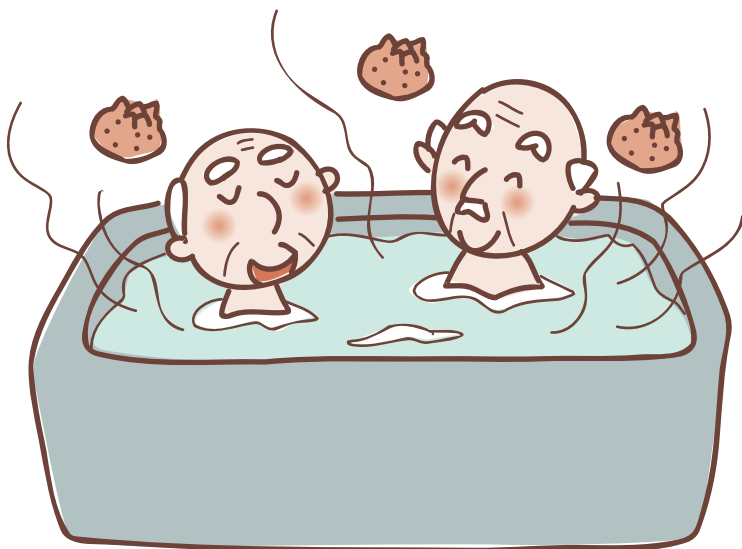
きっと何らかのお役に立てると思います。是非一度福祉会館まで足をお運びください。

お問い合わせ先

向日市居宅介護支援事業所 (TEL:931 - 3030)

デイサービス
新企画登場!!

日替りの湯週間 開始!!



“日替りの湯”の一例

森林の湯 ワインの湯 よもぎの湯
ラベンダーの湯 アロエの湯 花香水の湯
ゆずの湯 など盛り沢山!!

【入浴剤の効能】

神経痛 リウマチ 腰痛 痔 肩こり 冷え症
荒れ性 うちみ くじき ひび あせも しもやけ
あかぎれ 疲労回復 しっしん など...

向日市デイサービスセンターでは、福祉パレット103号でご紹介いたしました、平成16年10月の浴室等の全面改修にあたり、記念行事として温泉の素（入浴剤）を浴槽に入れ、利用者の皆さんに温泉気分を味わっていただ

きました。その際、皆様から大変ご好評をいただきましたので、本年度の新企画として6月から“日替りの湯週間”を定期的の実施することになり、利用者の皆さんに喜んでいただいています。



今後の デイサービス 活動予定

(活動の一場面)

- 絵手紙の会 ● 歌の集い ● 喫茶 ● 朗読
- お祭り ● 保育所との世代間交流会
- お誕生日会 ● 外出 ● 卓球バレー
- 健康体操 など

お問い合わせ先 向日市デイサービスセンター(向日市福祉会館内) TEL:931-3294

生きがいデイサービス

新たに 水曜日が追加

今までの生きがいデイサービス開所曜日は月曜日、火曜日、木曜日、土曜日の週4回の開所でしたが、5月より、水曜日が追加され、週5回に増えました。



5月のある百貨店への外出風景

生きがいデイサービスセンターに関するお問い合わせ先
 向日市デイサービスセンター
 (向日市福社会館内)
 TEL:931 - 3294)
 向日市役所
 (障害者高齢者支援課)
 TEL:931 - 1111)

あなたも一緒に
健康づくりをしませんか?



《お申し込み・お問い合わせ先》
 向日市役所
 障害者高齢者支援課
 TEL:931 - 1111(代)

今年4月から上植野コミュニティセンターで、おおむね60歳以上の向日市民を対象に、生きがいをもって楽しく集い学び、一緒に交流を行う場として、地域健康塾がオープンいたしましたのでご紹介いたします。

- 【費用】
 ● 無料
- 【内容】
 ● 健康チェック(血圧測定等)
 ● 軽体操
 ● 交流会(レクリエーションや茶話会、ゲームなど)

地域健康塾

オープン!

人に聞く Part 2

向日市社協ボランティア連絡会
会長 佐野とし子さん



ボランティアについて熱く語る

▼プロフィール

佐野さんが初めてボランティア活動に関わられたのは平成6年のことで、当時向日市社協の主催で開催された『点訳講座』や『要約筆記講座』に参加されたことをきっかけに、ボランティア活動に関心を持つようになったそうです。

平成6年12月には『要約筆記講座』に参加された有志の方々にて、要約筆記サークル『フレンド』を発足され、それ以来、難聴や中途失聴の方への情報保障と要約筆記技術の向上に日々励んでおられます。

現在は、『フレンド』以外に、介助ボランティアの『サークル・プラスワン』や点訳ボランティアの『きつつき』にも所属しておられます。

佐野さんは「サークルに幅広く関わったことで、視野が広がり、いろんな見方ができるようになった。無理せず、犠牲を払わないことが、長く楽しくボランティア活動が続ける秘訣では？」と話されました。

▼ボランティア連絡会の活動

ボランティア連絡会では、平成14年9月の発足以来、ボランティアアグリプ及びボランティア相互の連絡・交流とボランティア活動及び社会福祉に関する啓発等を中心に、幅広く活動を展開してこられました。

平成17年度においても、管外研修の実施や向日市社協との共催によるボランティアスクールの開催、向日市まつりへの参加等、多岐にわたる活動を展開される予定です。

佐野さんは、ボランティア連絡会が発足されてからの活動を振り返られて、「連絡会の発足をきっかけに、複数のサークルが一緒に活動する等、他のサークルと手を取り合って、連携・協力することの意義を見出した。ボランティア活動には、経験年数の差はあっても、上下関係はない。経験年数の長い人がリーダーシップを発揮しながら、みんなが同じ目的を持って活動している。『みんなで一緒にやっつけていこう』という気持ちを大切に、ボランティア活

向日市社協では、福祉パレット第104号から、向日市内で社会福祉に携わって活躍していただける方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介する「この人に聞く」コーナーを開設しました。

今回は、向日市社協ボランティア連絡会会長の佐野とし子さん（森本町在住）にボランティア連絡会の活動等についてお話を伺いました。

動に関わっていききたい。」と話されました。

▼ふれあいと思いやりのまちづくり

向日市社協では、平成13年度に策定した『地域福祉活動計画』において、『ふれあいと思いやりのまちづくり』をスローガンとして定め、日々地域福祉を推進しています。

佐野さんに「ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるために必要なことは？」と質問したところ、「昔は自然に隣近所に目を配っていたが、今は隣近所との関係が希薄になっている。みんなが日常生活の中で思いやりの気持ちを持って、地域に目を向けることが大切だと思う。身近な地域で、自然に声掛けや見守り、挨拶ができるようになれば、災害時にも大きな力になる。『自分たちの地域は自分たちの力で守る』という意識が大切だと思う。」と熱心に語って下さいました。

向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様方から寄せられた善意である赤い羽根共同募金の配分金の一部を財源として、年に3回（7月・11月・3月）発行しています。

向日市社協では、今後も市民の皆様方に関心と親しみを持って読んでいただけるように、紙面の充実に努めていきたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 向日市社協 総務係（TEL：932 - 1960）

